

# 常無行諸

題字 諸行無常 揮毫 今治市立常盤小教諭 矢野 勝志 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年  
(公財)愛媛県教育会  
理事長 藤原 雅彦  
役員員一同



公益財団法人愛媛県教育会  
理事長 藤原 雅彦

## 「装備」を磨き、大いに飛躍する！

変えるべきことは変え、やるべきことはやる

新年明けましておめでとうございませう。令和8年が始まりました。皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと存じます。

さて、本年の干支は丙午(ひのえうま)。「丙」は陽の気が満ちあふれ、物事が形となって現れ始めることを表し、「午」は活力にあふれた情熱やスピード感を象徴します。この年は、新しい力が湧き出し、周囲を巻き込みながら大きな変化を起こす年とも言われています。教育現場においても前向きな変革を後押ししてくれる一年になるのではないのでしょうか。

変化ということでは、昨年アメリカ大陸リーグで、歴史を変えるような出来事がありました。それは、山本由伸投手による「0日登板」です。彼が見せた「連投」という登板は、プロとしての自覚と高い準備力の重要性を強く印象づけました。子どもたちや先生方にとっても、山本選手の姿は、目標達成に向けて限界を設けず、常に自分自身をアップグレードし続けることの大切さを教えてくれたことだと思えます。

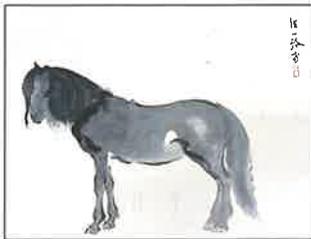
さて、令和8年度は県教育会も変化の年です。それは、昨年よりお願いしてい

ます会費の値上げです。長引く物価高や運営経費の上昇、収益の悪化など、厳しい経済状況を踏まえた決断です。これまで経費削減に最大限努めてまいりました。が、子どもたちや先生方を支える事業を継続・充実させるためには、やむを得ない措置と判断いたしました。会員の皆様にはご負担をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。皆様からお預かりする会費は、愛媛の未来を担う子どもたちと教育現場を、これまで以上に手厚く支援するために、大切に活用させていただきます。

せていただきます。教育を取り巻く環境は、加速度的に変化しています。しかし、子どもたちの健全な成長を願い、先生方を全力でサポートするという本会の使命は変わりません。県教育会は、この丙午の年に「努力が実を結び、飛躍する」という力強い運勢に乗って、各地区教育会との連携を一層強化し、愛媛の未来への投資となる教育支援に尽力してまいりたい所存です。南アフリカ共和国第8代大統領のネルソン・マンデラは、次のように言っています。

「教育とは、人が困難に打ち勝つための最良の装備である。」

令和8年が、愛媛県下のすべての子どもたちと先生方にとって、この「装備」を磨き、大いに飛躍する実り多き一年となりますよう、心から祈念し、新年のご挨拶といたします。



近藤浩一路氏 水墨画  
OB 松岡紀雄氏 提供

## 響

新年を迎え、また平和な日々が始まるようにしている。だが、世界に目を向けると、かけがえのない人の命を代償に国どうしの争いのニュースが絶えることはなかった。そこには国どうしの複雑で長い歴史や自国への思いがあるのだろうか……

▼あれは、もう10年前のこと。平成28年5月27日にアメリカの元大統領オバマ氏が広島を訪れ、手作りの折り鶴4羽を広島平和記念資料館に寄贈した。6月9日から一般公開が始まり、世界の国々から多くの人が訪れた。繊細な模様と色彩の千代紙で折られた4羽のたたずまいは、気品と世界平和を祈る魂が入っているかのよう感じた▼70年前一人の少女「佐々木禎子」さんが自分の命と世界平和の願いを込めて折った小さな鶴への思いが伝わり、アメリカ大統領の心まで動かしたのだろう。どうかこの願いが、世界に広がり、平和が日常になってほしい▼大半の世代が戦争を知らない現代の日本。学校現場の一員として、また教育に携わってきた者の一員として私たちは、未来を担う児童生徒に平和の尊さとありがたさを伝えていく使命があるのだらう。また、平和であることがあたり前のよう暮らしている私たちの責務なのだろうとも思う。

ひとこと

子どもたちに夢と希望あふれる日本を



愛媛県PTA連合会 会長 吉良 光司

昭和22年、当時の文部省で作成された「父母と教師の会」教育民主化のために」と題する手引書の中に、PTAの設立趣旨をこのように記してあります。「子供たちが健やかに正しく育っていくには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分け合い、力を合わせて子供たちの幸福のために努力していくことが大切である」。設立から70年以上に亘り、PTAは日本の子どもたちの自立と健全育成、福祉の増進を図り社会の発展に寄与すべく活動が進められてきました。この先人たちの想いを受け継ぎながら現在の活動があることを考えたとき、私たち保護者や教職員はその想いをきちんと受け継いでいるのでしょうか。多様な価値観が尊重される時代となった今

でも、子育てへの想いは不変的なものであるはず。 「家庭は習慣の学校であり、父母は習慣の教師である。しかもこの習慣の学校ははるかに力があり、極めて大きな効果を与える」。これは福沢諭吉が記した言葉です。家庭教育の在り方を表現された言葉だと思えます。家庭教育は子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、自立に向けた全ての教育の出発点です。このことの意味を今一度自身に問いかけ、見つめ直して欲しいと思います。 昨年10月には、自民党総裁高市早苗氏が憲政史上初となる女性総理に就任されました。このことは多くの国民、とりわけ政治に無関心とされる若者が大きな期待を抱いています。我が国は30年以上の停滞からようやく変わろうとしています。しかし、これは政治だけが変わろうとしても実現するものではなく、我々国民もその変革に自ら参加することが重要です。そのためにも、PTA活動をを通して夢と希望のあふれる21世紀型の地域づくり国づくりを進めていきましょう。そうすることで、子どもたちの未来もきつと希望に満ちたものになると確信しています。

学校紹介

No.264

松山市立さくら小学校

思いを受け継いで

さくら小学校は、平成元年に余土・たちばなの両小学校から分離した松山市で41番目に創立された小学校です。学校は田畑に囲まれており、そばには洗地川が流れるなど、身近に自然が感じられる環境です。一方、旧空港通りや松山外環状道路が校区を通っており、開発が進んでいる地区でもあります。



校名の「さくら」は、「古くから日本を代表する花木、『さくら』にちなみ、さくらの花のように明るく咲き、栄えることを望んで名付けられ」ました。その思いを受け継ぎ、今年で開校37年目となります。

では、そんなさくら小学校の特色ある活動を二つ紹介します。一つ目は、サクラメント市のマツヤマ小学校と平成16年度に姉妹校提携をし、交流を続けていることです。

昨年度は、5年生が2月にビデオチャット交流を行いました。学んだ英語を生かして、和太鼓や琴、習字、けん玉などの日本の伝統文化を実演しながら紹介しました。マツヤマ小学校からは、アメリカの学校生活について教わりました。相互に理解を深め合うことができる、心温まる交流会となっています。

二つ目は、頑張ったさくらっ子を表彰する「さくらかがやき大賞」です。昨年度末には、学校のリーダーとして学校全体のことを考えて行動した子どもやスポーツ活動で成果を上げた子どもなど13名が受賞しました。この賞は、地域の方がさくらっ子の成長を願う思いを受けて設けられたもので、その温かい心が受け継がれてきたものです。

このようなすてきな地域に見守られながら、さくらっ子は、明るく伸び伸びと学校生活を送っています。先日行われたアンケートでも、「さくら小学校区が好きだ。」「地域のためにできることをしたい。」「と考える子どもたちが、他校区と比べて顕著に多いという結果が見られました。今後も、地域を愛し、大切に思う心を教職員一丸となって育んでいきます。

(教頭 吉弘 祐治)

題字に寄せて

諸行無常



今治市立常盤小  
教諭 矢野 勝志

私事、一昨年の定年延長を経て、再任用教員として再出発しました。40年の教員生活を振り返るに、「諸行無常」に凝縮されているように感じます。

矢継ぎ早に出される教育改革という名の荒波に翻弄されつつ、現場に立ち続けた私にとって今ここに至る道程は奇跡です。世は「諸行無常」であるからこそ、幼き子らと学問的な価値を共有できたその刹那が、何物にも代えがたい輝きを放っていました。

老兵は黙して語らず、ただ去ること潔しとは重々承知しておりますが、今少しこの世界の片隅に生きることをお許し願いたいと思うのです。

ふるさとに生きる

生きることは学ぶこと



月岡 邦子先生

平成19年の退職まで36年間、学校教育に携わってこられた月岡邦子先生。現在は識字教室（勉強会）という社会教育の場で19年目を迎えられます。識字教室を訪ねると、勉強生や支援員の方々とともに、明るく朗らかに学ぶ先生のお姿がありました。

○教員生活を振り返っていかがですか。  
西条、新居浜、今治、新宮と、様々な所で勤務しました。地域に根差した教育を心がけ、教え子や同僚、保護者、そして地域の方々に支えられてきました。本当に恵まれた教員生活だったと思います。同和教育推進主任として、また研究大

会などを通して、多くを学ばせていただきました。  
○長年、識字教室に携わっておられますが…。  
識字教室は、平成16年、知的障がい者支援施設の方から「障がいのある人が自分の思いを文字で表現できるように教えて欲しい」との相談があり、元教員を中心に始まりました。かつては就学猶予という差別のもと、学校に通えなかった時代がありました。学びたくても、学ぶ場が与えられなかったのです。現在は、10代から60代までの約20名が学び、支援員12名が支援しています。ひらがな、漢字それぞれに合ったプリント

訪問者 越智洋子  
(西条市立小松小学校長)

No.133



で学びます。季節の行事や手話コーラスもあり、学びが生活に根つき、みんな生き生きとしています。  
この活動を通して、「どの人も伸びる」「学ぶことは尊い」ことを強く感じます。ゆつくりでも確実に成長していく姿に、教員としての自分を振り返ることも多くあります。  
○これから目指すものを教えてください。  
この活動が他の地域にも広がってほしいと思っています。現職の先生方にも、ぜひ見に来ていただきたいですね。年を重ねても、障がいがあっても、人は学び

続けることができます。これからも勉強生や支援員の方々とともに、楽しく学びを深めていきたいと思っています。

●対談を終えて

月岡先生と初めてお会いしてから35年。変わらぬ温かさ、確かな信念を持って教育に向き合うお姿に、改めて深い感銘を受けました。これからもお元気で、ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

月岡 邦子先生 78歳  
(西条市北条在住)

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から16%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払は給与引法となります。教員OBの方も口座振替（一括払）で適用されます。



お問い合わせは

- 一引受保険会社一  
東京海上日動火災保険（株）  
三井住友海上火災保険（株）  
損害保険 ジャパン（株）

愛媛県学校生活協同組合連合会

電話 (089) 925-0555

保険事業部担当まで

特集

私の夢

—人生100年時代を生きる—

健康



新居浜市立宮西小学校 校長 岡 俊守

55歳になった今、つい最近、私は入院と手術という人生の転機を経験した。自分ではまだまだ若いつもりでいたが、身体の不調は突然やってきた。検査の結果を聞いた時、とても驚いたし、恐怖もあった。手術は無事に終わり、退院後、今こうして普通の生活を送っているが、心には大きな変化があった。

これまで「健康」は当たり前のように思っていた。忙しさにまかせて運動も後回し、睡眠も食事もおろそかにしていた。だが、病室の天井を見上げていた時間が、健康は「あるもの」でなく、「守るもの」なのだと、私に気付かせてくれた。

人生100年時代と言われる現代。55歳といえば、折り返し地点を少し過ぎたところかもしれない。だがこれから先の40年余りをどう生きるかは、自分の選択にかかっている。退院後、私は夕方にウォーキングを始めた。最初はすぐに疲れてへとへとになってしまったが、今では

1時間ほど歩いたり走ったりすることができるようになっている。空気の匂い、季節の移ろい、体を動かす心地よさ。失っていた感覚が少しずつ戻ってくるのを感じる。

これから先、何が起こるか分からない。だからこそ、一日一日を丁寧に暮らしていきたい。若さは戻らないが、今だからこそできることもある。焦らず、無理せず、でも歩みを止めずに、人生100年その後半戦を、私は健康とともにしっかりと生きていきたい。

書は心画なり



松山市立日浦小学校 校長 日野 伸介

大病を乗り越えて還暦を迎え、人生100年時代を改めて考えるようになりました。今の私の夢は「書」の成就です。小学校1年生の頃に習った書道を、半世紀以上ぶりに学び直そうと思いつき、半年前から再挑戦しています。今は、ただ整った字を書くだけでなく、自分の想いや信念を力強く表すことにも照準を

合わせています。師として仰ぐ先生から習得しながらも、独学で探究を深める面白さも感じています。また、一画一画の墨の濃淡やかすれ、余白などにも深い意味があることを知りました。筆をとる時間は心を映す鏡であり、まさに「書は心画なり」。この言葉を胸に、修練を積んでいます。四国中央市出身でノーベル賞を受賞した眞鍋淑郎博士は、学びの根源にある思いは「好奇心」だと語っておられました。その言葉に強く共感します。好奇心があるからこそ、学び直しに挑み、未知の世界に心を躍らせることができます。「好学不倦（学ぶを好みて倦まず）」の精神をもつて、今は書の道を歩み、古希、傘寿、卒寿では、次の新たな夢に挑んでいきたいと思っています。また、いつの日か、この「文教月報」の題字に挑戦できることを大きな目標に掲げています。小さな山里の小中学校で子どもたちと共に過ごしながら、自ら奮闘し続ける後ろ姿を示すことができれば、人生100年時代を生き抜く力となるのではないのでしょうか。

私とお遍路(同行3人)



松前町立北伊予小学校 教諭 井上 雅見

私は、ある理由をきっかけとして、

- ★ えひめの先生方によって建てられた会館です。
★ 会議・研修・宿泊にご利用ください。

エスポワール 愛媛文教会館



TEL (089) 945-8644 FAX (089) 932-0380

感激の美に出会う

道後温泉駅から歩いて5分、閑静な住宅街に佇む美術館です。日本近代画壇を代表する画家たちの優品、日本画では横山大観・加山又造、洋画では小磯良平を中心とした絵画、そしてロダンの大理石彫刻《ファウナ(森の妖精)》など500点を所蔵しています。四季に合わせた展示で、地域の皆さまをはじめ道後を訪れる方々に心豊かなひとときを提供いたします。



上村 松園(夕くみの園)

〒790-0848 愛媛県松山市道後西多町4-42 TEL.089-946-5678 www.seki.co.jp/mus/

セキ美術館 SEKI ART GALLERY

18年前の40歳から妻と一緒に車遍路を始めた。車遍路とは、四国八十八か所霊場を車で巡礼するというものだ。徳島県の第1番札所霊山寺から、香川県の第88番札所大窪寺まで、四国を一周する。歩き遍路ならば、約50日はかかるのだが、車遍路ならば8日程度で巡ることが出来る。私は迷わず車遍路を選び、一度で巡る通し打ちではなく、複数回に分けて巡る区切り打ちで始めることにした。

始めた頃は、3人の子どももまだ小学生だったので、家族5人(同行6人)で巡っていた。現在は、3人の子どももすべて社会人となって働いており、私と妻と弘法大師様との同行3人で巡っている。18年間で今は、34周目となった。

人生100年時代を生きる私の夢は、妻と一緒に同行3人で50周を達成すること、できれば100周を達成することである。そのためには、2人の健康の維持と、自由に使える時間の確保、そして生活に困らないだけの僅かなお金が必要となる。これまで多忙な仕事に追われ、様々な制約の中で、学校の子どもた

ちのために、また、保護者のために、或いは共に働く仲間の先生方のために、自分にできる限りの力を尽くしてきた。今後は、もっとスロウライフで、妻と一緒に同行3人で、いつまでも楽しく生きていきたい。

### 私の夢



多喜立市立大  
小教諭  
森岡佳菜恵

小学校の卒業文集に書いた私の夢は、小学校の先生になること。そして、子ども一人一人の小さな変化に気付き、寄り添うことができる教師になること。

先生となって3年目の今年。教壇に立つのにも慣れてきたものの、この教師像の難しさを思い知ると同時に、日々の忙しさに余裕がなくなり、小さな変化を見逃していないだろうか、と内省する日々だ。しかし、子どもたちの昨日より一歩でも

成長した姿や、「分かった」「できた」という輝いた目で言う姿に立ち会えた時、夢をかなえてよかったと感じる瞬間がある。3年目となり、たくさんの先生方に学ばせていた大きながらずしらず見通しがもてるようになってきた。だんだんと自分の作りたい学級の方向性が見え、子どもたちと授業を作っていく楽しさを感じることも増えてきた。

人生100年時代と言われる現代。10年後や20年後の自分は想像もつかないが、一つだけ目標としていることは、「成長し続ける人でありたい」ということ。子どもにとって一番身近な大人である教員という職業。人生を変えるほどの影響力はないかもしれないけれど、子どもの成長に携わることのできるすてきな職業だと思っている。

日々成長する子どもに出会い、すばらしい先生方に出会い、私の目指す教師像もまた変化し続けていくだろう。初心を忘れず、出会いや環境に感謝し、学ばせていただきながら、今の私が未来の私にとって恥ずかしくないように、今年も新たなことに挑戦していきたい。

### 祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- |        |     |                |       |
|--------|-----|----------------|-------|
| 岡田 義孝様 | 88歳 | 元三間町立成妙小学校校長   | 宇和島市  |
| 加藤 敏史様 | 88歳 | 元川之江市立川之江小学校校長 | 四国中央市 |
| 杉浦 幸男様 | 88歳 | 元今治市立波止浜小学校校長  | 今治市   |
| 高井 正昭様 | 88歳 | 元内子町立内子小学校校長   | 内子町   |

### ご冥福をお祈りします

- |        |     |              |         |
|--------|-----|--------------|---------|
| 薦田 岳雪様 | 89歳 | 新居浜市船木二五五一   | 7・10・30 |
| 兵頭 竜郎様 | 81歳 | 宇和島市三間町波岡六〇  | 7・11・12 |
| 河澄 博子様 | 91歳 | 大洲市長浜町出海乙二〇  | 7・11・14 |
| 道岡 榮子様 | 70歳 | 八幡浜市日土町六三四二二 | 7・11・17 |
| 桑村 正明様 | 93歳 | 西条市古田甲一五一    | 7・11・17 |

教育の振興を目指す!

教育振興事業 福祉事業 共済事業

日教弘の「3大事業」

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部  
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内  
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

洋服の青山カード会員  
ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会では、洋服の青山と提携店契約を結んでおります。

お問い合わせは  
愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089)925-0555  
または 郡市学校生活協同組合

学校生活協同組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

第76回日本連合教育会研究大会茨城大会記念講演(要旨)

演題 「海外から見た日本の学校教育」

— 私たちは未来社会の担い手を育てているのか? —

講師 前常磐大学・常磐短期大学学長

富田敬子氏

報告者



南宇和教育会  
会長 尾崎 道広

1 はじめに

30年間国連に勤務するなど、長い海外生活の中で日本の学生や教育制度の課題が見えてきた。グローバル化が急速に進展する中で日本の教育はどうあればよいかという視点で話を進めていきたい。

2 加速化するグローバル化が教育にもたらす挑戦

情報通信技術の進展、交通手段の発達、市場の国際的な開放により、ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて活発に移動する社会になってきた。社会的、経済的なものが地球規模に拡大されていくと、様々な分野で各国が相互に依存し合うようになり、他国や国際社会の動向が無視できなくなっている状況である。

多様な人、価値、文化と遭遇するグローバル社会では、互いの違

いを理解したうえで、相手を尊重し、協働できる資質を育む教育が求められている。

実際日本でも在留外国人が年々増加し、総人口の3%近くにも達している。外国にルーツをもつ子どもが教室に何人もいる学校もあり、こうした子どもへの教育の充実を考えていく必要がある。

3 国外から見た日本人学生

国連の見学プログラムを通して、様々な国の学生たちと接してきたが、日本人学生は、礼儀正しく、秩序ある行動がとれる。また、協調性に富み、個よりも集団を重んじる傾向にある。一方で、他国の学生に比べて、政治参加意識や社会問題への関心が低い。発言力、発信力、自分の言葉で語るといふ力が非常に弱く、人前で主体的に行動することも苦手である。また、視点は少し異なるが、近代史における歴史認識も低いとも感じる。

日本人学生が、国連などの国際社会で働く場合、コミュニケーションスキルで積極的な手を挙げ、自分の意見を主張しない者やリーダーシップを発揮できない者は、

国際社会では認めてもらえない。もちろん、日本人は真面目で責任感があり、協調して仕事ができるという長所ももっている。

4 日本人学生の特徴と教育制度の関連性

このような日本人学生の特徴は、今の教育制度に起因していると考えられる。

日本の教育は、学力だけでなく心の教育(道徳教育)も重視してきた。これは協調性や倫理観を育成し、人間性の形成に寄与している。また、学生生活における規律の徹底は、協調性や責任感を育み、社会人としての基礎を形成してきた。その一方で、この規則重視が、若者の受け身の姿勢や主体性のなさにつながっているとも考える。

また、日本の教育は、全国一律のカリキュラムを通して、均一的に誰にも最低限の基礎学力を習得させることを目指してきた。その

ため、生徒一人一人の興味関心に合わせた授業が展開しにくく、個性や創造性が尊重されにくい。独自の考えを主張する機会も限られている。

さらに、知識の習得に重点が置かれてきた結果、学んだ知識を実践したり、創造的に発信したりする機会が少ない。自分の考えをまとめたり、アピールしたりする機会が限られており、それが若者の自信のなさ、自己肯定感の低さにつながっているとも考える。

5 今後の日本の教育に問われていること

グローバル化が進む中で、日本の教育制度の持つ本来の強みを最大限に生かしながら、革新的に変革していく必要がある。

グローバル人材の育成とは、単に英語に堪能な若者を育てることではない。グローバル化によって遭遇する多様性や違った価値観をきちんと理解し、受け入れることが求められる。規矩重視、画一的な教育から脱却し、個性と創造性、自己肯定感を育む教育を進めていく必要がある。また、近代史に関する歴史認識を高めると同時に、郷土に対する理解を促進することも新たなアイデンティティを醸成することにつながると考える。

急速なグローバル化に直面している現在、学校のリーダーには、地域・国・世界レベルの変化をしっかりと見据えながら学校運営に携わってほしい。



ふなもとスケッチ  
No.494

いざいざいざ

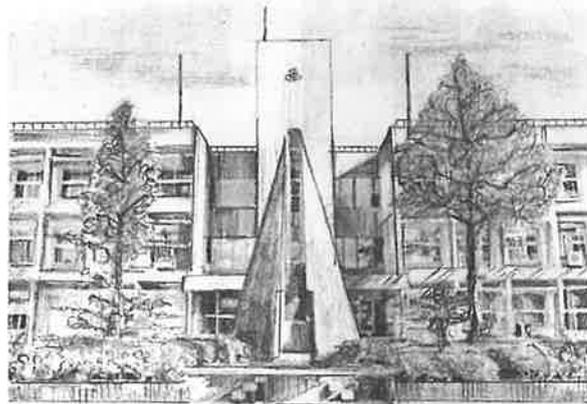
三瓶中学校



三瓶中 校長 水口 雅彦  
西予市立

てず、古くはなっている。しかし、豊かな自然あふれるこの三瓶町に根付いている三瓶中学校は、生徒たちに十分な学びを与えてくれる、大切な場所（空間）となっている。

緑の山々を背に受けて、前は青々とした三瓶湾が広がり、海岸線にはオレンジ色が輝く段々畑を望める三瓶町。そのほぼ中心に三瓶中学校がある。50年前に建てられたものとしては立派で、前面には「立志の塔」が誇らしげに建っている。その校舎も老朽化には勝



文教俳句

一俳句ポストより

秋雨や祝いの宴に集う人  
なつかしの伊予の学び舎秋深し  
新涼や道後の宴にニューフェイス  
間に座す虫の音ずっと聞きたくて  
川澄みて木の根に魚の集まりて  
担ぎ手も神輿も秋の風背負ふ

東京都 高木要志男  
大阪市 延谷 徹  
西条市 年森 恭子  
松山市 遠藤 節子  
松山市 池田 容子  
松山市 池田 容子  
松山市 池田 容子

ローカルトピックス

大洲の秘湯「小菽温泉」

私が勤務している大洲市肱川町には、大洲の秘湯といわれている「小菽温泉」があります。「小菽温泉」は、県下でも名の知られた名湯で、古くから湯治場としてにぎわっています。アルカリ性単純泉の湯は無色透明で、リウマチや神経痛、皮膚病、不眠症などに効能があると評判です。

大浴場は松風呂（男湯）と、岩風呂（女湯）があり、大きな窓からは、小菽川や四季折々の自然を楽しめ、露天風呂気分を味わうことができます。日帰り入浴のほか、宿泊や食事（予約制）の利用もできます。おすすめは、鶏鍋や川魚の塩焼き、山菜料理です。

また、大正中期に建築された木造3階建ての本館は、建物そのものが趣たっぷり、欄干付きの回廊が巡らされており、タイムスリップしたかのような気分になれます。温泉好きの方、ぜひ一度はお越しあれ。



（愛媛文教月報編集協力委員 飯野 剛宏）

◆教育講演会◆

去る11月25日(火)、フィルムコミッションナーの泉谷昇氏を講師に迎え、「スクリーンの裏側から学ぶ愛媛の魅力」という演題で、教育講演会を開催しました。

NPO法人ジャパン・フィルムコミッション理事の泉谷氏は、映画やテレビドラマ、CMなどの撮影をスムーズに進めるために、地域社会と映像制作会社との間に立つ調整役として活躍されています。今まで映画などで使われたロケ地を映像で紹介しながら、制作中のエピソードやロケ弁の紹

介など、私たちが知らなかったスクリーンの裏側を熱く語ってくださいました。何より伝わってくるのは、泉谷氏の「愛媛愛」。地元が見過ごしてしまいがちな「愛媛のよさ」を発掘してはロケ地として提案し発信するので、地域経済の活性化にもつながります。「聖地巡礼」などは大きな経済効果を生むという話に、経験のある人もない人も納得の笑顔でうなずき、皆が聞き入っていました。

参加者からのアンケートには、「自分の住んでいる愛媛の魅力を再発見した」「子どもたちにも地元のよさを伝えたい」など、感激した感想が多く寄せられ、90分間の講演会は大変な拍手を受けて幕を閉じました。



**第18回「えひめ教育の日」  
推進大会・  
推進フェスティバル 開催**

**進マ** **かがやけ未来!**  
**推テ** **愛顔ひろがる えひめっこ**

令和7年11月16日(日)に、国立大洲青少年交流の家において、第18回「えひめ教育の日」推進大会・推進フェスティバルを開催しました。県議会、県教委をはじめ延べ約300名の参加者を迎え、盛会裏に大会を終えることができました。開会式では「みきゃん」が登場し、開会式が盛り上がりました。



空打太鼓の舞・呼出し太鼓の舞 (里獅子保存会)



主催者あいさつ (藤原雅彦会長)



届け! 音楽が紡ぐ絆 (大洲南中学校)



関連写真表彰



水族館部は救う、町も学校も (長浜高校)



「愛のあるバナナ」贈呈



必見!!世界レベルのパフォーマンス! (大洲なわとびクラブ)



展示発表(大洲高校)



《記念イベント》  
「シゴト☆ジブン発見カード体験と企業の話」



物産販売(大洲農業高校)

また、関連写真における今年度の大賞受賞2校園に会長より賞状と盾が授与されるとともに、推進フェスティバルに出演する代表者あるバナナを贈呈しました。推進フェスティバルは、里獅子保存会による軽快な獅子舞で幕を開け、大洲南中学校の迫力ある吹奏楽演奏、地域とともに発展する長浜高校水族館部の研究発表と続き、最後に大洲なわとびクラブによる世界レベルのなわとびパフォーマンスで締めくくりました。

物産販売が行われ、大会に彩りを添えてくれました。第2部の記念イベントは、ジョブカフェ愛Work主催による「シゴト☆ジブン発見カード体験と企業の話」を行い、中学校の生徒・保護者18組が参加し、それぞれ興味のある仕事や自分のタイプを発見しようというたいへん有意義な時間を過ごしました。最後には、地元の企業の方の営業に関する話を傾聴したりするなど、参加者は真剣に取り組んでいました。

※大会・フェスティバルの様子は、県教育会HPで紹介しています。  
(<https://ehime-kyouikukai.nain.jp/>)

**「えひめ教育の日」関連写真**

「えひめ教育の日」関連写真の募集に、県下85校園から作品をお寄せいただきました。その中から、「幼稚園・小学校の部」、「中学校・高等学校の部」の部門別に、大賞各部門1点、優秀賞各部門4点を表彰しました。

**大賞**

幼稚園・小学校の部  
こぼれる愛顔大賞



大洲市立河辺幼稚園

中学校・高等学校の部

えがお愛顔ツインズ大賞



愛媛県立大洲農業高等学校

**優秀賞**

〔幼稚園・小学校の部〕

久万高原町立七川幼稚園

宇和島市立宇和津幼稚園

西条市立田滝小学校

大洲市立長浜小学校

〔中学校・高等学校の部〕

上島町立岩城中学校

松山市立拓南中学校

大洲市立長浜中学校

愛媛県立今治北高等学校